

第90回関西広域連合委員会

日時：平成30年3月3日（土）

午前11時15分～午後0時0分

場所：大阪府立国際会議場

開会 午前11時30分

○広域連合長（井戸敏三） 大変第90回の連合委員会の開会が遅くなったことをおわび申し上げたいと思います。それでは、早速でございますけれども、90回目になります連合委員会を開会させていただきます。

まず、協議事項が2つあります。それから報告事項に入らせていただきます。

最初の協議事項は、関西広域連合の来年の組織体制についてです。事務局からご説明願います。

○事務局 資料1をお願いいたします。平成30年度の本部事務局の組織体制についてです。

項目1は、連携推進の強化についてです。（1）本部事務局が連携推進に関する総合調整機能を果たしますため、参与（連携担当）を設置し、次に掲げます関西観光本部に関することなどの業務に関しまして指導助言及び必要な調整等を行うものといたします。

（2）構成府縣市、官民等の連携による取組の企画調整等を効果的に推進いたしますため、連携推進課を新設し、課長1名、担当1名を配置いたします。

2ページをお願いいたします。項目2です。平成31年度からの毒物劇物取扱者試験・医薬品販売に係る登録販売者試験の実施に向けて体制強化を図りますため、資格試験・免許課を再編し、参事（新事務準備担当）を廃止して、その業務を資格試験・免許課長が担うとともに、薬剤師1名、担当1名を拡充配置いたします。

項目3です。現在、企画課長は次長（総括担当）が兼務、地方分権対策課長は次長（計画調整担当）が兼務しておりますが、次長の業務負担が大きいことから同次長の

兼務を解消し、専任の企画課長、地方分権課長を配置するものです。これに伴いまして次長（計画調整担当）を廃止いたしますとともに、次長（総括担当）の名称を次長とし、その所掌については本部事務局長の職務を補佐し、本部事務局全課を指揮・監督するものといたします。また、企画課、計画課、地方分権課につきましては、業務量を勘案し、それぞれ担当1名を減員するものでございます。

項目4です。現在、議会事務局次長は本部事務局次長が兼務しておりますが、次長職の議会事務局と本部事務局の立場を明確にいたしますため、兼務を解消し、議会事務局次長を配置いたします。また、調査課が議事課機能を担っている業務実態を勘案いたしまして、課の名称を議事調査課とし、同課長を議会事務局次長が兼務するものといたします。

3ページには組織図を添付しております。

説明は以上でございます。よろしく願いいたします。

○広域連合長（井戸敏三） ご説明したとおりの体制で30年度臨ませていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。特に議会事務局の次長が兼務していたのを解消させていただくことにいたしましたので、ご理解いただきたいと思います。

続きまして、2019年G20サミットの首脳会議の開催につきまして、広域連合も当然関連いたしますし、決まったことは大歓迎でありますので、松井委員から状況の説明をお願い申し上げたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

○委員（松井一郎） 今、連合長からお話ありました、先日、2019年の日本初開催となりますけども、G20サミットの首脳会議が大阪で開催されることが決定されました。G20サミットは、これまで日本が経験したことのない大規模な国際会議でありまして、世界の主要各国の首脳が数多く来阪をされます。

会場につきましてはインテックス大阪を予定しておりますが、3空港の一体的利用や関係者のホテルの確保、警備面での警察、消防の応援など、大阪だけではなく関西全体のお力をお借りして、職員派遣等もいただきながら万全の体制で準備を進めてい

く必要があると考えております。このため、地元関西における推進組織として、2019年G20大阪サミット関西推進協力協議会を来週6日に立ち上げたいと考えております。G20サミットは世界に大阪・関西の存在感をアピールする絶好の機会でもありますし、万博誘致の弾みになるものと考えております。関西広域連合の皆さんにもぜひともご参画をいただき、ご協力をよろしくお願いいたします。

○広域連合長（井戸敏三） 協力をさせていただくんでありますが、G20の開催に関連して、委員の皆さんから何かご質疑なりご意見がありましたらお願いいたします。

○広域副連合長（仁坂吉伸） それでは、ものすごく喜ばしいことだと思うので、具体的にどんな協力をしたらいいのか、何でもやりますからどんどん言ってください。

○委員（松井一郎） ありがとうございます。やっぱり警備の部分につきましては、これはやっぱり関西の各警察本部のお力添えが非常に必要だと、こう思ってます。それと、あと、宿泊施設等々につきましても、これを全て大阪で賄えるのかということも検討しなければならないと思っておりますので、ぜひ推進協議会に広域連合のそれぞれの自治体から人を派遣していただいて、これ、あと1年3カ月ほどしかありませんので、非常にタイトな日程で万全態勢を整えなければならないと、こう思っていますので、ご迷惑をおかけしますが、各構成府縣市の方からの派遣要請をぜひお願いしたいと思っております。

○委員（飯泉嘉門） 本当にこれは喜ばしいことですし、まさに今、松井委員からも言われた万博の誘致、またその前哨戦としても非常にいいタイミングだと思いますので、警察の方は恐らく警察庁からいろんな配分、応援体制つくると思っていますので、今、後段でおっしゃられた、それぞれの今度は職員、この派遣、どんなものを担っていくのか、当然万博を想定して、そして対応をやっていただければと思いますので、どんどんおっしゃっていただければと。そして、これを通じてとにかく世界中に大阪を初めとする関西をPRできるようにしっかりと取り組んでいければと思いますので、何なりとおっしゃっていただきたいと思っております。

○広域連合長（井戸敏三） 松井さん、人事派遣を各府県に要請されるんだとすると、急がれないと、人事異動もう作業が大詰めですよ、きっと。ですから、例えば兵庫県から5人くれとか、もう割りつけていただいて要請受けた方が早いんですけどね。

○委員（松井一郎） ありがとうございます。であれば、事務方に整理をさせまして、もう具体的に各構成府県市にお願いをすることといたします。どうもありがとうございました。

○広域連合長（井戸敏三） いえいえ。

○委員（飯泉嘉門） 今の件で、大阪に例えば行くとして、例えば関西広域連合にみんな送って、そこから行くのがいいのか、直接大阪に行くのがいいのか、これだったら、でも、関西広域連合に全部派遣して行くというか、手っ取り早くはないですか。

○広域連合長（井戸敏三） それもいいかもしれない。

○委員（飯泉嘉門） それだったらプールしとけばいい訳なんで。

○広域連合長（井戸敏三） どうぞ、荒井さん。

○委員（荒井正吾） G20でも過去の開催地見てみますと、大阪では立派にされると思います。全然その点は心配してないんですけども、おもてなしの点でいろいろ協力してやるのがいいかなと。

前、G7東京で随分前やった時に、私、交通計画課長をやっていて、サミットパスというのを出したんですよ、東京で。サミットパスというのは、私鉄とJR、ある期間、参加者、記者団がポイントだったんだけども、記者が5,000人来ると、取材の間、暇だから見てくださいという意味でサミットパスを出して、これ印刷代だけで済んだんですけども、関東の私鉄とJRも協力してくれた。関東の私鉄は日光から小田原まで行けると、JRはそこそこ行けるといような、地下鉄も発達してるから色々な、浅草だの、そういうのが次の観光振興につながってきたんじゃないかと。

アイデアですけど、歌舞伎の隈取のデザイン考えて、印刷代だけで鉄道会社が協力してくれた。さて関西はどうだろうかと思いますが、1つのアイデアかと。すると、

伊勢志摩でも琵琶湖でも宝塚でも、JRがどこまでかということになりますけれども、もしうまくいけばね、関西に来る人、どのような範囲でパス発行するかによりますけれども、もし印刷代だけで済めば非常に効用はあると思います。

○広域連合長（井戸敏三）　　イコカですね。

○委員（三日月大造）　　いや、当時は紙じゃない。

○広域連合長（井戸敏三）　　イコカ。駅あります。

○委員（荒井正吾）　　いやいや、お金払わないんだから、その。

○広域連合長（井戸敏三）　　いや、お金は払わないんだけど、イコカのスタイルでないと改札が面倒。

○委員（荒井正吾）　　ああ、そうか。その時は紙を見せたら、有人のところでパスを見せて、お土産がわりに使ってもらったということなんですけどね、電磁式のお土産になれば、それもあるかもしれません。

○委員（飯泉嘉門）　　今、荒井知事さんからね、おもてなしということが、先ほど松井知事さんから、あるいはペーパーの中にこの関西3空港の共同運航の話も、ここあるんですが、我々関西広域連合では常に大阪ベイエリア5空港、例えば南紀白浜、うちの徳島阿波おどりとありますので、そこも視野に入れていただいて、先ほど万博のいわば大きな実証ということも考えていくと、おもてなしという観点でも、そこへおとりて、じゃあ特別に会場まで高速艇を走らせるとか、それは国も考えてもらえばいい話なので、そうしたものを大胆にやってみたらいいかと思いますので、ぜひその大阪ベイエリア全体を含めて考えていただければと思います。

○広域連合長（井戸敏三）　　エクスカージョンでは必ずきつと京都だとか和歌山だとか奈良とか兵庫だとか関連して来るとしますので、そういう面でも協力があると思いますから。

○委員（飯泉嘉門）　　徳島……。

○広域連合長（井戸敏三）　　徳島も鳥取も、失礼しました。

それでは、いずれにしても関西広域連合及びその構成府縣市、政令市含めて全面的に協力したいと思っておりますので、協力できること、それぞれについてよろしくお願ひしたいと思っております。今おっしゃったように、どっちがいいのかは少し実務的に検討させていただきたいと思っております。派遣する場合、籍を一度移してから派遣するのがいいのかどうか検討してみたいと思っております。

それでは続きまして、報告事項になりますが、2025年の万博博覧会の誘致活動につきまして、お願いいたします。

○大阪府万博誘致推進室 大阪府万博誘致推進室の芳本と申します。私から万博誘致活動の取組について説明いたします。

お手元の資料3の1ページをご覧ください。誘致活動の1つの柱であります国内機運醸成につきましては、他の立候補を圧倒する国内機運を具体的数値で示すこととしております。

資料の2ページをご覧ください。本年、2月末現在、誘致委員会の会員数は約24万人、署名数と合わせますと賛同者数は100万人を突破いたしました。これまでの皆様方のご理解、ご協力に厚くお礼申し上げます。今後は、会員数はもとより署名数等もあわせまして賛同者数の拡大に引き続き皆様方のご協力をよろしくお願ひいたします。

資料3ページをご覧ください。万博誘致の決議ですが、徐々に全国に広がりを見せております。資料の太い字で書いておりますように、都道府県議会では新たに石川県議会、高知県議会に決議いただきました。また、行政団体等では全国町村議会議長会に決議いただいたところです。さらに、関西の市町村議会でいきますと、兵庫県の篠山市、神河町で決議をいただいております。今後もこの議会等の決議状況につきましては皆さんに適宜情報提供させていただきますが、中でも構成府県内の市町村の議会の決議につきましては、それぞれのご事情を踏まえまして個別に調整を進めております。ご支援いただいております関係府県の皆様には、この場をお借りいたしましてお礼を申し上げます。万博誘致の決議につきましても、1つでも多く獲得できるよう、

今後も事務局といたしまして丁寧に調整を進めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

続きまして、資料の4ページをご覧ください。誘致活動のもう一つの柱になっております海外プロモーションですが、フランスが撤退した今、B I E加盟国への全方位的な支持要請を行いつつ、ヨーロッパですとかアフリカなどフランスと関係が深い国々の支持が得られるよう働きかけを強めていくことが重要と考えております。皆様には友好都市との国際交流事業や外国要人の表敬受けなど、あらゆる機会を利用した中央政府への働きかけにつきましてご理解、ご協力をよろしくお願いいたしたいと思っております。

資料の5ページ以降、これは今後のスケジュール、これまでのプロモーションの取組事例となっておりますので、後ほどご確認いただけますと幸いです。

私から説明は以上です。

○**広域連合長（井戸敏三）** ご報告いただきました。何かお尋ねすることございますか。松井さん、よろしいですか。

○**委員（松井一郎）** 2025年万博誘致につきましても、構成府県市の皆さんにご協力いただきまして、今、ご説明をさせていただいたとおり順調に機運醸成、盛り上がりが少しずつ広がってきていると思います。ただ、まだまだ絶対大丈夫という油断ができるような状態ではありません。パリが辞退をしましても、僕が聞いている中ではやっぱりロシアとアゼルバイジャン、これも非常に強敵ということが言われておりますから、ぜひ気を緩めることなく勝ち抜いていきたいという思いでありますから、引き続き皆さん方のご協力とご支援をお願いします。

そして、いよいよ来週B I Eの調査団の皆さんがこの視察に訪れます。その皆さん方にいかに盛り上がりを肌で感じていただくのが非常に重要ということになっております。広域連合の皆さん方にもその面でもご支援をいただいておりますので、ぜひとも、これは関西一丸となってこの誘致を実現したいと思っておりますので、どうぞよろし

くお願いします。ありがとうございます。

○**広域連合長（井戸敏三）** 来週は調査団も来ますので、ぜひ協力をするとともに、一体となって誘致活動を展開するように努力したいと思います。

どうぞ、荒井さん。

○**委員（荒井正吾）** 協力の中で、外国要人、特にB I Eの加盟国へターゲットを決めて、来られた人を、おもてなしをするということがあろうかと思うんですが、おもてなしぐらいは喜んでさせていただきますので、割り振っていただいて、あそこへ行って何か見てきなさいというようなのを振り分けていただくと、喜んでおもてなしぐらいはさせていただきますたいと、食事もさせていただきますたいと思います。

○**広域連合長（井戸敏三）** 具体的な協力も今のような申し出をいただいておりますので、ぜひご活用いただければありがたいと思います。

続きまして、ワールドマスターズゲームズの準備状況についての報告をさせていただきます。

申しおくれましたが、午後の議会でもできるだけ紙消費を減らそうというような質問があるようなこともありまして、大阪府さんのご協力でただ今のようなペーパーレスでご協議をさせていただきました。

○**委員（三日月大造）** 広域連合も。

○**広域連合長（井戸敏三）** 広域連合もそうしたらいいんですが、どうするんだろうね、これからやっていくの、ペーパーレス。

○**事務局** させていただいて、どんどん活用していきたいと。

○**広域連合長（井戸敏三）** 広域連合も、それではできるだけペーパーレス化を目指して試行をさせていただくようにしたいと思います。

と言いながら、ワールドマスターズまた紙に戻るんですが、よろしく説明してください。

○**関西ワールドマスターズゲームズ2021組織委員会** 組織委員会事務局長の大西で

ございます。

では、資料4に基づきまして開催の準備状況についてご報告を申し上げます。これにつきましては、一昨日、組織委員会の理事会におきまして協議し、了解をいただいたものでございます。

まず、1点目でございます。平成30年度の事業計画でございます。関西大会の開催まで3年、競技参加者の募集開始は1年前でございますから2年余りとなっております。いよいよ本番に向けまして本当に準備の最終段階という形になります。着実に万全の準備ができるよう取り組んでまいります。

まず、主な取組でございますが、大会運営の準備ということで大会当日の案内所の設置とか、あるいは受付の場所、あるいは宿泊、交通、ボランティア、安全管理、危機管理、あるいは地域の観光・文化資源のPR等のおもてなし等々、各種の取組につきまして外部の専門的な知見とか、あるいは実践的なノウハウを取り入れながら、各実行委員会とも連携をしながら一体となって参加者の方が満足ができるような大会の準備をしてまいりたいと思います。

2つ目は競技でございます。競技の開催準備につきましては、実行委員会を初め各中央の競技団体の皆様のご協力により競技調整を一層進めてまいります。

それから、3番目でございます。大会のPR、大会参加者の獲得に向けた取組でございます。まだまだ認知度が低うございますので、一層高めていく必要があります。国内向け、海外向け等、それぞれターゲットを絞りまして、戦略的に効果的、効率的な広報事業を展開してまいります。国内向けにつきましては、今年のこの8月18日がちょうど1,000日前ということになります、1,000日前の節目に、例えば関西各府県のカウントダウンボードを設置していただくとか、いろんなフェスタ等連動しまして、関西のみならず全国的にも大きな機運を盛り上げていきたいと、このように考えております。

次のページをお願いいたします。

このことに関連いたしまして、1,000日前を契機にキャラバン隊を結成いたしまして、今度は全国の主要都市についてキャラバン活動のスタートをしてまいりたいと思います。

また、海外向けでございますが、訪日関心層に向けまして、拡散力のありますウェブメディア等のデジタルメディア等も活用しながら参画者の獲得につなげてまいります。

また、今のところでございますが、海外関連大会でのPRということで、昨年もオークランドに行っていただきましたけれども、今年はこの9月にマレーシアで、アジアで初めて開催するアジアパシフィックマスターズ大会がございますので、そういった会場等も使いながら、しっかりとPRをしていきたいと思っておりますし、また、ウに書いておりますように、重点国を定めながら取組をしてまいりたいと思います。特にアジアにつきましては訪日リピーター層ですか、非常に高いですね、台湾とか香港とか韓国とか、こういったところにスポーツアパレル等の海外戦略との連携もしながらPRをしていきたいと思っております。

今申し上げましたアジアのペナン大会、この9月に開催をされますが、組織委員会といたしましてもブースを出してPR活動、あるいは会長にもご出席いただきましてマレーシア政府等との関係のトップセールスもお願いをしたいと思っております。

また、各府県の方にもぜひこの大会には参加をしていただきたいと思います。

ちなみに、参考の資料として4ページの、先に回りますが、兵庫県さんの方でペナン大会の大会視察をご検討されております。県民の方々に参加していただく取組ということでございますが、なかなか交通の事業者の方も独自の商品化は今のところないわけでございます、そういう意味で、商品化に向けた取組を事業者と連携して企画をされておまして、そういうパックツアーということですが、ご検討されております。

また、シンボルアスリートといった形でトップアスリートの方にもご同行いただく

ような形でのご企画もされているところでございます。このパックにつきましては、何も兵庫県だけじゃなくいろいろな方でも使えますので、ぜひ多くの都道府県の皆様方にも、政令市の皆様方にもご参加をいただけたらありがたいと思っております。

また2ページに戻っていただきたいと思います。

引き続きまして、マーケティングにつきましても、今後、第2次の協賛がスタートしております。しっかりと協賛企業獲得の継続的な取組をしながら大会価値を高めていく取組も行って参ります。

また、レガシーの創出ということで、これを機会に生涯スポーツとか観光とか地域の活性化の取組をしっかりとやっていきたいと思っておりますし、多くの方々、団体が地域活動等を通じて大会を盛り上げていただくためのTSUNAGUプログラムというのをこの4月から動かしてまいりたいと思っております。

次に、オープン競技の開催決定等でございます。国体等ではデモスポーツと言っておりましたけれども、この大会、我々の大会、正式競技は32競技、55種目決まっておりますけれども、これを盛り上げるためのその他の競技、各種の競技の開催を大会の1年前から、そして大会後の8月までオープン競技で盛り上げていければなと思っております。(2)に書いておりますように、昨年12月にもご報告させていただきましたけれども、9競技、これに加えて、一昨日、新たにまた9競技を決定させていただいております。今年12月にはまた第3次募集という形で決定をしておりますので、また多くの競技を決定していきまして、盛り上げていきたいなと思っております。

3つ目でございます。我々の主催しておりますイベント、3月に開催されるイベントを挙げております。お手元の後ろにそのチラシをつけさせていただいております。また後ほどご覧いただきたいと思います。1つには「Road To ワールドマスターズゲームズ2021関西 TSUNAGU in 洲本」ということでございます。これは兵庫県の洲本市さんと、それからアスリートネットワークの洲本のトップアスリ

ートの方々と、それから兵庫県の実行委員会等ということで、共催あるいはご後援いただきながら開催するものでございます。大会を契機とした地域の活性化の取組のスタートという形でさせていただきたいと思っております。トップアスリートの方によく参加していただくことになっております。

2つ目は、ワールドマスターズゲームズ2021関西体験型スポーツイベント、これは今年で2回目でございますが、一昨年前からグランフロント大阪のうめきた広場で開催をしております。今年もたむらけんじさんを総合MCに迎えましてさせていただいております。非常にこれまでも好評でしたので、これも継続的にやればなと考えております。

以上でございます。今後ともワールドマスターズの推進につきまして積極的に進めてまいりますので、連合委員会の皆様方にも引き続きご支援のほどよろしくお願いを申し上げます。

以上でございます。

○広域連合長（井戸敏三） 私からもお願いでございますが、4ページに書いておりますように、シンボルアスリートのもとに、引率をこの方々にやっていただく、そして、パックツアーは誰でも申し込めるという仕掛けにしておりますので、ぜひマレーシア・ペナンに行って、そして、今度は関西に来いという働きかけをしてきたい、できればと、こう思っておりますので、どうぞよろしくご協力をお願い申し上げたいと存じます。

○広域連合長（井戸敏三） 20万円前後だということで今のところはお理解いただいたらありがたいと思います。

それでは次は、第1回のフォローアップ委員会の開催結果とか広域行政のあり方検討会の開催ですとかは資料をつけておりますが、説明は省略させていただきます。

それではその次、資料7のSDGsプラットフォームの活動についてご報告をさせていただきます。本部事務局お願いします。

○事務局　ご説明いたします。資料7をご覧ください。昨年12月に設立されました関西SDGsプラットフォームの活動状況につきまして、既に実施されたもの、もしくは今、予定されているもののうち、広域連合にかかわるものについて簡単にご報告を申し上げます。

まず、2月19日にSDGsプラットフォームの情報発信のためのホームページを開設いたしました。アドレスはこちらでございますので、またご覧になっていただきたいと思います。

それから、活動の内容といたしましては、直近では3月8日から3月10日にかけて実業家の方々に構成されます民間団体で実行委員会を設けまして、ハッピーウーマンフェスタ2018というのが開催されます。これは関西だけではなく東京、仙台、それから名古屋、そして大阪と、この4カ所で開催される割と大きな規模のものでございまして、これは国連が制定した国際女性デー、3月8日にあわせてそれを広めるための活動ということでございまして、近畿経産局、関経連、大阪府、大阪市等とともに関西広域連合も後援いたします。なお、3月8日はBIEの視察団もちょうど来られますので、その歓迎についてもこの実行委員会の方で一定の対応をしていただけるということでございます。

それから、3月22日、次の連合委員会と同日でございますが、プラットフォームの分科会として、近畿経産局の方が立ち上げました関西SDGs貢献ビジネスネットワークのキックオフ会合がございます。

先ほどのハッピーウーマンについては別紙1として付けておりますので、またご覧になっておいてください。

それから、このキックオフにつきましては別紙2の方に資料がございますので、詳細はそちらをご覧ください。これはビジネスの視点からSDGsを促進することを目指すというビジネスネットワークでございまして、その協力としましてJICA関西とともに共催で名を連ねてございます。詳細は別紙2でございます。

それから、30年の5月から12月、30年度に入ってからですが、SDGs 貢献キャラバンというのをこのSDGs 貢献ビジネスネットワークの事業として近畿経産局がやりたいということで、目的については、関西の企業等のSDGs に関する先進的な取組について、その情報共有をもって企業や団体の、企業の価値の創造やイノベーションの創造の促進をやっていきたいということでありまして、一緒にやりたいと、自治体と一緒にということで広域連合に協力依頼が来ております。それで、5月から順次、関西ですっとやっていきたいということをございまして、最初に兵庫県にご協力いただけるということでお伺いしております。よろしくお願ひいたします。あと、引き続き各構成団体の方でご協力をいただければということをございます。

概要につきましては、こちらに記載しているとおりでございます。

以上でご報告を終わります。

○広域連合長（井戸敏三） SDGs についても協力をしていこうということで、私が何かメンバーに参加させられております。どうぞよろしくご協力をお願いしたいと思ひます。

続きまして、関西健康・医療創生会議のシンポジウムを開催いたしますので、お知らせをしたいと思ひます。

○事務局 資料8をご覧ください。関西健康・医療創生会議では毎年1回シンポジウムを開催しております。本年度はご覧のとおり、3月26日午後には大阪国際会議場での開催を予定しております。今回はこれまで3カ年にわたりまして中心テーマとして議論しておりました「健康・医療ビッグデータを具体的に産業界や行政がどのように活用できるか」というのをテーマに開催したいと考えております。ビッグデータの活用は、在宅介護とか遠隔医療、健康寿命延伸など、構成府県市の皆様方の実務にも関係してくる内容でございますので、年度末で大変厚かましいお願ひでございますけれども、各府県市様におかれましては5名から10名を目途に参加いただければ幸ひでございます。

ご説明は以上でございます。

○**広域連合長（井戸敏三）** どうぞよろしくお願いを申し上げます。

続きまして、カンタス航空の直行便就航に伴いまして、オーストラリアを訪問していただきました。山下副委員、よろしくご報告ください。

○**副委員（山下晃正）** 資料9でございます。昨年のトッププロモーションで実現しましたカンタス航空の直行便の関係でございまして、先方からのお招きもあって訪問をさせていただきました。13名の方、本当にありがとうございました。

結果といたしましては、こちらから向こうへ行っておられる方も増えているということでございまして、向こうからの送り込みをさらに強化したいというお話と、便数の増加の検討をしていただくというような実りのあるプロモーションができたと思っております。

以上でございます。

○**広域連合長（井戸敏三）** ありがとうございました。ご苦労さまでした。オーストラリアとの関係、こういう形でさらに交流が深まっていくことを期待したいと思います。

続きまして、はなやか関西「文化の道」フォーラムの開催結果について、引き続きお願いします。

○**副委員（山下晃正）** はなやか関西「文化の道」フォーラムですけども、資料10でございます。

初めて関西圏を飛び出して東京で開催をさせていただきました。2月3日でございます。東京の観世能楽堂で「ものがたり街道～三十三所巡礼～」をテーマにお話をさせていただいて、会場いっぱいの方に来ていただきました。やはり関西の文化と、モノからコトへと、物語へというようなお話が非常に今の時代に合ってるなと感想を持った次第でございます。

以上でございます。

○広域連合長（井戸敏三） ありがとうございます。東京で理解をしてもらう機会をつくるというのはこれからもできるだけ心がけたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

続いて、鳥取県のドクターヘリの愛称が決まりましたので、飯泉委員の方からお願いいたします。

○委員（飯泉嘉門） 資料11をご覧いただきたいと思います。

いよいよ今月の26日から関西広域連合7機目のドクターヘリとなります鳥取県のドクターヘリ、こちらが移管をされます。基地病院につきましては、鳥取大学医学部附属病院、米子市であります。

そして、守備範囲につきましては、鳥取県全域と兵庫県の北西部、また、隣接となります島根県、岡山県、広島県、半径70キロ圏内にかかるところを管轄とさせていただきます。

また、愛称につきましても、11月22日から12月20日まで行いました結果、全国から337件寄せられたところでありまして、千葉県船橋市の方の「KANSAI・おしどり」、ちなみにオシドリは兵庫県の県鳥であります、失礼しました、鳥取県の県鳥で、兵庫県は違いました、下に書いてありますね。

○広域連合長（井戸敏三） コウノトリ。

○委員（飯泉嘉門） コウノトリと、あと「はばタン」でした。大変失礼いたしました。ということで、これからはこのPRをする場合には必ずこの愛称も同時にPRをしていったらどうだろうかということがありますので、こうした点についてもご協力をよろしくお願いを申し上げたいと存じます。

以上です。

○広域連合長（井戸敏三） 「おしどり」を可愛がってまいりましょう。

それでは続きまして、「第九」の演奏会についてお願いいたします。

○委員（飯泉嘉門） これは私の方から皆様方にお礼を申し上げたいと存じます。

ベートーベン「第九」アジア初演から今年がちょうど100周年となるところでありまして、ちょうどそのページにあります、その他のところにありますように、2月6日に安倍総理とドイツのシュタインマイヤー大統領が首脳会談におきましてベートーベン「第九」アジア初演100周年を日独双方でPRをしようと、外務省が認定をする「DAIKU2018」記念事業の指定が行われるのであります。本来、原則は3月1日以降の事業となっておりますが、この2月12日、アスティとくしまで行われました。この時からということで、第1号の指定となりました。そして、関西広域連合の皆様方には、ホップ・ステップと過去2回にわたり、そして今回のジャンプ、全部で3,000名の合唱団のうち796名が関西広域連合からということで、大阪府の368名をはじめとして大変なご協力をいただいたところであります。

また、徳島県と友好提携を結んでいるドイツ・ニーダーザクセン州、昨年10周年を迎えましたが、100名の高校生の合唱団、また、台湾からインバウンドで50名の合唱団にもお越しをいただき、国際色豊かに行わせていただきました。その時のプログラムも後ろの方につけさせていただいておりますので、ぜひご参考に。この中に実はこの外務省が指定をするロゴ、ベートーベンが漫画チックに書かれているところが最終ページ手前のところにございますので、またご覧をいただければと。ちょうど名簿の最終ページの下のところになります。

また、もう一つ参考までに。実は、徳島県のアンテナショップが東京にあります、「ターンテーブル」を今回、2月4日新たに開設をいたしまして、今、全世界から集まるインフルエンサー、特に渋谷に集まるということがございまして、こちら、奥渋谷の方にマルシェ機能、そしてバル、交流機能、そしてレストラン、さらには2階から5階につきましてはホテル機能と、四位一体の新しいアンテナショップ、オープンをさせていただきましたので、ぜひお越しをいただければと思います。こちらはPRとなります。

「第九」の方につきましては本当にありがとうございました。心から感謝を申し上

げたいと存じます。

○広域連合長（井戸敏三） ありがとうございます。なかなか随分立派な「ターンテーブル」をつくられたんですね。

○委員（飯泉嘉門） はい。

○広域連合長（井戸敏三） 宿泊施設もあるんですか。

○委員（飯泉嘉門） はい。実は、渋谷区はラブホテルの規制条例がありまして、なかなか普通のビジネスホテルがつかれないというのがありました。渋谷とも最終的には協定を結ぶ、目の前が渋谷区の公園になりますので、新しい形を、そして、東急の皆さん方に渋谷を、一大再開発をしておりますので、東急あるいは渋谷区と連携をする形でオープンと、また、宿泊が非常に足りないといった面につきましてもこうした形、丸ごと徳島という形でオープンをさせていただきました。

○広域連合長（井戸敏三） これは徳島の人しか利用できないんですか。

○委員（飯泉嘉門） いえいえ、もうどんどん。ということで、今日はそのPRと。県議会の皆さん方からも、関西広域連合の議員さんもおられますので、ぜひこの場でPRをすべきじゃないかという提案をいただいて、早速提案をさせていただきます。

○広域連合長（井戸敏三） ありがとうございます。

今回の90回の関西広域連合の委員会、予定しておりました議題は以上でございますが、特にご意見等ございましたらお願いします。

それでは、午後から議会もありますので。3月22日に次回の連合委員会を開催させていただきます。場所は大阪府の咲洲庁舎をお借りすることにいたしておりますので、どうぞよろしくお願いいいたします。併せまして、広域行政のあり方検討委員との意見交換も実施いたします。

以上で第90回の委員会、終了とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

○事務局　それでは、記者の皆さん、もし質問ありましたら受けたいと思います。
いかがでしょうか。

はい、どうぞ。

○NHK記者　NHKの野上と申します。

松井知事に質問です。G20の協力要請について、連合長からも全面的に協力するというお話ありましたけれども、今の所感はどうでしょうか。

○委員（松井一郎）　大変ありがたい話だと思ってます。G20も万博もそうですが、これ、大阪府・大阪市だけのイベントではありません、もう関西全体でやはり盛り上げていく関西全体の1つの大きなイベントという捉え方を僕もしていますので、関西が1つになってこのG20並びに万博誘致獲得を目指していきたいと思っています。

○事務局　よろしいですか。他にございませんか。

はい、どうぞ。

○日本海新聞記者　日本海新聞の山本と申しますけれども、井戸連合長にお聞きしたいんですが、先ほど報告でありましたドクターヘリの新しい愛称、今回、「KANSAI・おしどり」ということで報告ありましたけれども、改めてこの愛称に対する受けとめと、今後この愛称をどうPRされていきたいかというのを伺えますでしょうか。

○広域連合長（井戸敏三）　先ほど飯泉担当委員からもご説明いたしましたように、ドクターヘリ7機、関西広域連合で運航することで全地域をカバーすることになりました。そして、それぞれの7機に愛称がついてますので、これをやはり理解していただく、もっと人口に膾炙するようになっていきたいということで、できるだけPRを進めていきたいと思っています。

それと、ドクターヘリの利用状況が、特に3県ヘリ、京都と兵庫と鳥取で運航しておりますこの3県ヘリが1,600回ぐらい利用しているんですね。ですから、交通事情が悪いということもあるんですが、この辺、運用をこれからどういうふう考えてい

くのかというのが課題にもなるのかな。

ただ、一方で、そのおかげで豊岡の救急部門の医療体制が非常に整ったということもございまして、ドクターヘリの効果というのは医師の確保にもつながっているという点もありますので、できるだけ活用をしながら効率的な運用に努めていくということが課題になってくるのかな、こう思っております。

○日本海新聞記者 ありがとうございました。

○事務局 他にありませんか。

それではこれで終わらせていただきます。ありがとうございました。

閉会 午後0時15分